

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	潰瘍性大腸炎のタクロリムスによる寛解導入療法の短期予後に関する検討
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	消化器内科 佐藤辰宣
研究期間	2025年4月 ～ 2026年12月
試料・情報の利用又は提供を開始する予定日	実施許可日（2025年4月2日）
対象者	2016年1月から2023年12月の間に潰瘍性大腸炎増悪と診断され入院しタクロリムス（プログラフ®など）による寛解導入を受けた患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	潰瘍性大腸炎は炎症性腸疾患として再燃と寛解を繰り返すことが知られています。近年内科治療の選択肢は増加し、緊急入院となった重症患者さんの多くでは治療効果の期待度からタクロリムスという薬剤による治療を行います。その中でも効果が得られず他の薬剤への変更や手術が必要なことがあります。そこで、タクロリムスを導入された患者さんの経過を把握する目的に本研究を企画しました。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none">・背景因子（年齢、性別、家族歴、既往歴など）、・臨床データ（治療内容、症状、手術の有無など）
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記のとおりお問い合わせ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると認められる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 消化器内科 佐藤辰宣 代表 054-247-6111